

【資料2803】

## 指摘事項

指 摘 箇 所	内 容	改修区分	備考
<b>区分開閉器</b> 設置のお奨め	<p>高压受電設備などで起きた事故が原因で、電力会社の配電線に接続されている住宅、ビル、工場、病院、銀行、交通機関、交通信号システムなど、さまざまな範囲に停電が広がる事故を<b>波及事故</b>と言います。毎年全国で400件から500件発生しております。波及事故が発生すると、自社の損失のみならず、他社の工場の操業停止や、デパートの営業停止、信号機の消灯など、社会的に大きな影響を及ぼすため、場合によっては多大な<b>損害賠償を請求</b>されるケースもあります。また、停電だけでなく、機器が損壊し修理や取り換えが必要となる場合もあります。</p> <p>波及事故は設置者の責任が問われ、さまざまな被害を伴う重大な事故なのです。</p> <p>この波及事故を防ぐ目的で近年は当該需要家のみが遮断(停電)し、他の需要家(付近一帯)には支障を来たさない保護装置付きの区分開閉器の設置が一般的となっていました。しかし、貴事業所の高压受電設備は1987年当時の設備ですので区分開閉器が設置されておりません。</p> <p><b>波及事故対応の為にも区分開閉器の設置をお奨めします。</b></p>   	<b>大至急</b>	

【開閉器 設置されていない例】 【設置されている例】

